

# 中国株ウィークリーレポート

2020/6/15

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	25,605.54	477.37	1.90	-5.55	-10.28	28,538.44
NASDAQ	9,588.81	96.08	1.01	-2.30	6.87	8,972.60
日経225	22,305.48	-167.43	-0.75	-2.44	-5.71	23,656.62
上海総合	2,919.74	-1.16	-0.04	-0.38	-4.27	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,003.08	7.20	0.18	0.05	-2.28	4,096.58
ハンセン	24,301.38	-178.77	-0.73	-1.89	-13.79	28,189.75
中国企業	9,832.53	-112.07	-1.13	-2.32	-11.96	11,168.06

## 【株式概況】

### 先週の動き: ハンセン指数は1.9%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は0.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で1.9%安と3週ぶりに反落した。週前半は各国の景気持ち直しへの期待を背景に買いが継続。9日には終値で約3カ月ぶりに節目の25000ポイント台を回復したが、その後は一転して軟調な展開。新型コロナ感染第2波への警戒感が高まったほか、NY市場の下落も嫌気された。本土市場では上海総合指数が週間で0.4%安と3週ぶりに反落。中国政府による景気対策期待を受けて週前半は堅調に推移したが、週後半は利益確定売りで軟調な展開となった。

### 今週の展望: 香港市場は一進一退の展開か、新型コロナ感染第2波に警戒

香港市場は経済活動再開に伴う景気持ち直し期待と新型コロナの感染第2波への警戒で一進一退の展開が予想される。ブラジルやインドなど新興国で感染の急拡大が続いているほか、感染が収束しつつあった中国でも北京で集団感染が発生。再び経済活動が停滞するとの警戒感が広がりそうだ。朝鮮半島を巡る地政学リスクに加え、全人代常務委員会での香港国家安全法の審議も懸念材料。本土市場も中国政府による景気対策や金融緩和期待は根強いものの、感染第2波への警戒感から一進一退の値動きとなりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 新世界発展 (00017)	9.24	3.70
2 九龍倉置業地産 (01997)	34.45	3.61
3 吉利汽車 (00175)	12.04	2.38
4 長江実業地産 (01113)	47.00	1.84
5 テセント (00700)	441.00	1.57
6 Link REIT (00823)	67.10	1.28
7 中国人寿保険 (02628)	15.98	1.27
8 香港証券取引所 (00388)	296.20	0.68
9 新鴻基地産 (00016)	100.30	0.55
10 中国生物製薬 (01177)	13.76	0.44

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 HSBC (00005)	37.30	-7.90
2 申洲国際集団 (02313)	95.50	-6.37
3 ファイナ・コム (00762)	4.33	-6.28
4 CNOOC (00883)	8.83	-5.36
5 ヘトロファイナ (00857)	2.66	-5.34
6 中国旺旺 (00151)	5.62	-5.07
7 シベック (00386)	3.41	-5.01
8 恒基兆業地産 (00012)	29.55	-4.68
9 中国神華能源 (01088)	12.50	-4.58
10 恒安国際集団 (01044)	59.95	-4.46

## ▼今週の主なイベント

- 6月16日(火) 【香港】失業率(3-5月)
- 6月18日(木) 【中国】全人代常務委員会(～20日)
- 【香港】JDドット・コムが香港に上場

### ▼今週の期待材料

- ◆18日にネット通販2位のJDドット・コムが香港市場に上場、中国有力IT企業の回帰で市場が活性化
- ◆中国政府による景気対策や金融緩和への期待が継続、最優遇貸出金利の引き下げ期待が高まる可能性も
- ◆深セン市が新エネルギー車のナンバープレート登録に関する規制を緩和、新エネルギー車メーカーの追い風に

### ▼今週の懸念材料

- ◆16日に香港政府統計処が3-5月の失業率を発表、財政長官は過去15年で最悪の水準に悪化すると警告
- ◆北京市の卸売市場で集団感染が発生、13日には約2カ月ぶりに新規感染者が50人を突破
- ◆18-20日に全人代常務委員会が香港国家安全法を審議、香港の抗議活動が過激化する可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国旺旺 (00151) : 16日に20年3月本決算を発表、市場予想は3%増益
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 1-5月の保険料収入が15%増加、5月は3%増
- ☆ JDドット・コム (09618) : 18日に香港市場に上場、公開価格は226HKドルに決定
- ◇ 紫金鉱業集団 (02899) : トロント上場のガイアナ・ゴールドフィールズの買収を発表
- ◇ 中国東方航空 (00670) : 吉祥航空などと共同で海南省に新航空会社を設立
- ★ ササ・インターナショナル (00178) : 20年3月本決算は赤字転落の見通し
- ★ 閱文集団 (00772) : 創業者で前CEOの呉文輝氏が1000万株を売却
- ★ キャセイ・パシフィック (00293) : 5月の旅客数が99%減少、貨物輸送量は41%減
- ★ 中国平安保険 (02318) : 1-5月の保険料収入が1%減少、5月は8%増
- ★ 易キン集団 (02858) : 20年6月中間決算は新型コロナの影響で赤字転落の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。